

総合型選抜Ⅱ期＜面談型＞ 募集要項2025

募集人員

総合型選抜Ⅱ期＜面談型＞…入学定員の15%

エントリー／出願資格

本学を専願とする者で、次のいずれかに該当する者

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
3. 高等学校卒業程度認定試験(旧:大学入学資格検定)に合格した者、または2025年3月31日までに合格見込みの者。
4. 文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
5. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
6. 文部科学大臣の指定した者。
7. 本学が、高等学校卒業と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者。

※出願資格7で受験を希望される方は、エントリー開始の1カ月前までに広報入試課までお問い合わせください。

※卒業・修了・合格見込で入学試験に出願・合格し入学手続きを完了した者が、2025年3月31日までに卒業・修了・合格しなかった場合は、入学資格を取り消します。

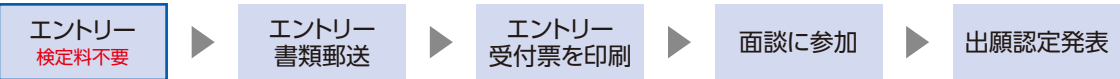
エントリー時提出書類

● インターネット志願票 ● 自己PR書 本学所定の様式に記入してください。

※出願認定後の提出書類は、出願認定通知に同封してお知らせします。

※本学所定の様式は神戸芸術工科大学ウェブサイト「募集要項・入試ガイド・出願書類のダウンロード」のページ (<https://www.kobe-du.ac.jp/exam/download/>) からダウンロードしてください。

エントリーの流れ



※エントリーの流れの詳細は、「入試ガイド2025」10～13ページを参照してください。

検定料

● エントリー……………無料

入学試験日程

区分	エントリー 期間(WEB)	エントリー 書類郵送締切 ※1	1次選考 ※2	出願認定 発表
総合型選抜 Ⅱ期 ＜面談型＞	8/23(金) 00:00 ～ 9/2(月) 23:59	登録後 ～ 9/3(火) 当日消印有効	面談 9/16(月)	9/27(金)

※1 エントリー書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

※2 エントリー受付票は面談の2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。

インターネットエントリー／出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所を切り取ったものを当日ご持参ください。

面談日の集合時間等は3～4ページの各学科詳細ページを参照してください。なお、エントリー者数により、集合時間等は変更する場合があります。

選考・配点

【1次選考】

自己PR書+課題(当日持参)+面談
(総合評価)
200点満点

※自己PR書や面談、課題(持参作品・ポートフォリオ等)を通じて、学科への適性を評価します。

POINT

エントリーについて

- 1学科のみエントリーが可能です。
- エントリー時には調査書は不要です。
- 総合型選抜Ⅰ期＜体験型＞と総合型選抜Ⅱ期＜面談型＞の両方にエントリーする場合、入試区分ごとに提出書類が必要です。
- 学科単位で選考を行います。

出願時提出書類

- インターネット志願票 ● 調査書 ● 志望理由書 本学所定の様式に記入してください。

※本学所定の様式は神戸芸術工科大学ウェブサイト「募集要項・入試ガイド・出願書類のダウンロード」のページ (<https://www.kobe-du.ac.jp/exam/download/>) からダウンロードしてください。

出願の流れ



※出願の流れの詳細は、「入試ガイド2025」10～13ページを参照してください。

検定料

- 出願.....35,000円 ※検定料減免の制度があります。条件は下記の「POINT」をご確認ください。

入学試験日程

区分	出願期間(WEB) および 検定料支払	出願書類 郵送締切 ※1	2次選考 ※2	合格発表	入学手続き 期間
総合型選抜 Ⅱ期 <面談型>	出願認定 発表 ～ 10/10(木) 23:59	検定料 支払後 ～ 10/11(金) 当日消印有効	書類選考 来校の必要は ありません	11/1(金)	合格発表 ～ 入学金 11/22(金) 当日消印有効 学費等 12/6(金) 当日消印有効

※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

※2 出願受付票は合格発表の2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。
インターネットエントリー／出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、お手元に保管ください。

選考・配点

【2次選考】



POINT

出願について

- 出願手続き時に志望理由書と調査書が必要です。
- 出願手続き後は、専願となります。出願手続き後の辞退はできません。なお、専願型入試において合格となった場合、入学手続きを完了する必要があります。
- 総合型選抜Ⅰ期<体験型>と総合型選抜Ⅱ期<面談型>でそれぞれ出願認定が出た場合は、どちらかの入試区分において希望する学科の出願手続きを行ってください。なお、出願手続き後は、学科の変更はできません。
- 受験生本人が2024年4月～8月までの本学オープンキャンパスに参加すると、2025年度入学試験総合型選抜Ⅰ期<体験型>／Ⅱ期<面談型>の検定料が15,000円減免になります。該当者には、出願認定通知に書類を同封致します。また、該当者にもかかわらず書類が同封されていない場合は、検定料支払前に広報入試課までご連絡ください。

エントリー／出願に関する注意

- エントリー／出願は簡易書留速達郵便に限り、それ以外の受付は一切おこないません。
- 必要書類の郵送はエントリー／出願書類郵送締切日消印有効です。ただし国外からエントリー／出願の場合は、エントリー／出願書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。
- 書類に不備のある場合は受理できません。
- いったん受理したエントリー／出願書類は返却できません。
- 入試において、氏名等に含まれる旧字体を常用漢字に置き換えて記載することがあります。
- 書類は指定がない限り、原本を提出してください。
- 自筆を要する内容は油性黒色ボールペン（細字、0.7mm程度）を使用してください。赤・青・緑色など黒色以外のものや、鉛筆、消せるボールペン（インク）の使用は不可とします。

建築・環境デザイン学科

1次選考

①自己PR書

中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動（例：作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動）や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。

②課題

【持参作品・資料】 （当日持参）

持参作品・資料を、試験当日に持参してください。
持参作品・資料は、建築・環境デザイン分野への関心や学習意欲をアピールするためのものです。
具体例としては、以下のようなものがあげられます。
・デッサン、立体造形作品、イラスト、模型などの作品
・クラブ活動や地域行事などで取り組んだことの成果品や活動の記録をまとめた資料
・興味を持った建物や風景について、調べたり感じたりした内容をまとめたレポート
（詳細は5ページを参照してください）

③面談

自己PR書にふれながら、受験生の皆さんが建築・環境デザインの分野に抱いている関心や将来の夢、本学科のデザイン教育の特徴などを話題に複数教員による1人15分程度の個人面談をおこないます。面談を通じて、皆さんの学習意欲や将来性を見出します。

2次選考

①志望理由書

志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。

②調査書

調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/16(月)

9:40 集合(受付開始8:55)
10:00 面談開始

持参物

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・課題（持参作品・資料）

面談型

生産・工芸デザイン学科

1次選考

①自己PR書

中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動（例：作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動）や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。

②課題

【ポートフォリオ】 （当日持参）

課題のポートフォリオは当日試験会場に持参してください。ポートフォリオは、プロダクトデザイン、ファッション・テキスタイル、クラフトの分野への関心や学習意欲をアピールするためのものです。あなた自身の活動を取りまとめた資料や作品の写真をまとめた資料などファイルにまとめてください。写真資料の具体例としては、以下のようなものがあげられます。
・デッサン、絵画、デザイン、イラスト、写真、自作した衣服、立体作品（ガラス、陶芸、金工、フィギュア、彫刻など）

③面談

複数教員による1人20分程度の個人面談をおこないます。受験生と教員との理解を深め、当日持参したポートフォリオの説明をもとに学習意欲や可能性を見出すことを目的としています。

2次選考

①志望理由書

志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。

②調査書

調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/16(月)

9:40 集合(受付開始8:55)
10:00 面談開始

持参物

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・課題（ポートフォリオ）

面談型

ビジュアルデザイン学科

1次選考

①自己PR書

中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動（例：作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動）や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。

②課題 【持参作品】 （当日持参）

デッサン、絵画（油絵、水彩画等）、イラストレーション、イメージ表現、色彩構成、ポスター、写真、映像作品、立体作品、クロッキー帳やスケッチブックにまとめられたアイデアスケッチやラフスケッチ、自分でデザインした冊子や絵本など、幅広くビジュアルデザインに関連するものを5～10点を目安に持参してください。デッサンなど、持ち運べる大きさの手描き作品は、現物を持参していただく方が望ましいです。

③面談

複数教員による1人15分程度の個人面談をおこないます。教員との個人面談を通して、デザインや学習に対する意欲や可能性を見出すことを目的としています。
持参作品の他に自分をアピールできる効果的なPR資料があれば持参してください（任意）。各種資格証明書やコンクール等の入賞記録、クラブ活動の記録等、どのような形式のものでも構いません。

2次選考

①志望理由書

志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。

②調査書

調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/16(月)

9:40 集合(受付開始8:55)

10:00 面談開始

持参物

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・課題（持参作品）
- ・PR資料（面談用）※任意

面談型

メディア芸術学科

1次選考

①自己PR書

中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動（例：作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動）や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。

②課題 【持参作品】 （当日持参）

自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を、現物、あるいはポートフォリオや映像などの形にまとめて、可能な限り多数持参してください。
詳細は5ページを参照してください。

③面談

複数教員による1人15分程度の個人面談をおこないます。課題（持参作品）を通して教員と受験生、お互いの理解を深めるとともに、本人の適性や意欲、秘められた可能性などを見出すことを目的とします。

2次選考

①志望理由書

志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。

②調査書

調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/16(月)

9:40 集合(受付開始8:55)

10:00 面談開始

持参物

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・課題（持参作品）

面談型

全学科共通

デジタル作品や映像作品を持参する場合は、パソコン・タブレット・スマートフォンなどの再生装置に記録して持参してください。再生装置やバッテリー、インターネット回線の貸出はおこないません。映像作品を持参する場合は、限られた時間内に提示できるようにしてください。

建築・環境
デザイン学科

建築・環境デザイン分野への適性を判断する材料としますので、自ら制作の意図や制作過程における工夫などを説明できる作品や、建築・環境デザイン分野への学習意欲をアピールするための資料を持参してください。具体例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・学校の授業で取り組んだデッサンや立体造形などの作品
- ・クラブ活動や地域行事などで取り組んだことの成果品や、活動の記録をまとめた資料
- ・自宅学習で制作したイラストや模型などの作品・地域の行事などへの参加体験をまとめた記録
- ・興味を持ったインテリア、建物、街並みについて、調べたり感じたりした内容をまとめたレポート

生産・工芸
デザイン学科

課題のポートフォリオは当日試験会場に持参してください。ポートフォリオは、プロダクトデザイン、ファッション・テキスタイル、クラフトの分野への関心や学習意欲をアピールするためのものです。あなた自身の活動を取りまとめた資料や作品の写真をまとめた資料などファイルにまとめてください。写真資料の具体例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・デッサン、絵画、デザイン、イラスト、写真、自作した衣服、立体作品（ガラス、陶芸、金工、フィギュア、彫刻など）

ビジュアル
デザイン学科

デッサン、絵画（油絵、水彩画等）、イラストレーション、イメージ表現、色彩構成、ポスター、写真、映像作品、立体作品、クロッキー帳やスケッチブックにまとめられたアイデアスケッチやラフスケッチ、自分でデザインした冊子や絵本など、幅広くビジュアルデザインに関連するものを5～10点を目安に持参してください。（デッサンなど、持ち運べる大きさの手描き作品は、現物を持参していただく方が望ましいです）

メディア
芸術学科

過去3年以内の作品を持参してください。絵画、イラスト、まんが、映像、立体物等、作品の種類は問いません。自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を現物、あるいはポートフォリオにまとめたものを持参してください。パソコン、タブレット端末で閲覧できるものでもかまいません。写真作品、コマ撮リアニメ、コンピューターアニメーション、実写映像などについては絵コンテなどの中間成果物、デジタル作品に関しては中間データを確認できる形で持参してください。また、自作フィギュア、学校行事に関する創作物などの立体作品や、未完成の絵画、イラスト、まんが作品など、その他何でも構いません。絵を描く受験生は、自由に絵やイラストを描いている「落書きノート」や「スケッチブック」（「40ページ以上のノートやスケッチブック、クロッキー帳」または「40ページ（20ポケット）以上のクリアブックにまとめたポートフォリオ」）を必ず持参してください。「スケッチブック」「落書きノート」を見たいのは入試では見られないみなさんの可能性を探すためです。恥ずかしがらないで、これは入試向きかそうでないかなどと自分で判断せず、日頃描いている「落書き」をなるべくたくさん持ってきてください。またデッサンのみを持参作品とすることは避けるようにしてください。

※持参作品およびPR資料の一部を参考例として選んだものであり、必ずしも、これらの内容に限定するものではありません。

受験に関する注意

1. 受験票(エントリー受付票／出願受付票)は事前に配信します。各自でダウンロードして印刷し、所定の箇所で切り取ったものをご用意ください。試験の2日前になっても配信通知が届かない場合は、広報入試課までお問い合わせください。
2. 試験の前日(前日が日・祝の場合はその前日)は建物内の立入を禁止します。
3. 試験会場の駐車場の使用はできません。可能な限り公共交通機関を利用してください。
※自動車の利用が必要な方は試験日の2日前までに広報入試課までお問い合わせください。
4. 試験当日は必ず受付を済ませてから試験室に入室してください。
5. 特に指定がない限り、受付は集合時間の45分前からおこないます。
6. 集合時間までに試験室に入室し、指定の席に着席してください。
7. 試験開始後30分以上遅刻した者には原則として受験を認めません。
8. 試験室には時計がない場合もありますので時計を持参してください。
9. 下記の不正行為、周囲に迷惑のかかる行為等があった場合は退場を命じ、すべての試験を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。また、提出された書類・資料等及び入学検定料は返還しません。
 - ①出願の際に提出した書類・資料、提供した情報、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入等を行うこと。
 - ②カンニング(試験教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)を行うこと。
 - ③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ④配布された問題用紙(冊子)・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑤解答開始時刻(監督者の指示)の前に、問題用紙(冊子)を開いたり解答を始めること。
 - ⑥試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類・各試験で使用する可されたもの以外の物を使用すること。
 - ⑦解答終了時刻(監督者の指示)後も「終了」の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けること。
 - ⑧試験時間中に私語、用具の貸し借り、許可なく自席を離れること。
10. 受験票を忘れたり紛失した場合は、速やかに受付に申し出て仮受験票の発行を受けてください。
11. 服装は自由です(試験結果には一切関係ありません)。
12. 食堂及び購売部は営業しません。昼食が必要な場合は持参し、指定された座席で食事をとってください。
13. 試験当日、学外(敷地外)でおこなわれている営業やサービスの案内は、本学とは一切関係ありません。
14. 採点は指定された解答用紙に記載された内容のみを対象とします。解答用紙以外への解答は白紙解答とみなします。
15. 試験当日は、受験生及び教職員以外は構内立ち入り禁止とします。付添者控室の設定はありません。
16. やむを得ず試験日時や選抜方法などを変更する場合があります。神戸芸術工科大学ウェブサイトにて最新情報を確認してください。

その他

出願認定及び合格発表

出願認定及び合格は郵送のみで本人宛に通知します(郵便事情により遅れることがあります)。電話等による問い合わせには一切応じられません。また、学内・ウェブサイトでの掲示もおこないません。

個別の入学資格審査

エントリー／出願資格について、学校教育法施行規則第150条第7号によりエントリー／出願をしようとする場合は、個別の入学資格審査を受ける必要がありますので、各入学試験のエントリー／出願開始日の1ヶ月前までに広報入試課まで申し出てください。審査に必要な書類等については個別に指示します。

特別配慮を必要とする方へ

障がい等のある方で、受験の際、特別な配慮を必要とされる場合は、指定の期日までに、申請書類を郵送してください。詳細及び申請については下記URLをご参照ください。

<https://www.kobe-du.ac.jp/exam/support/>

(配慮の事例)

- ・入退室がしやすい座席を確保し、座席までの動線(段差、ドアの開閉等)を確保する。
- ・聴覚障がい、言語障がい、発達障がい等の障がいがあり、音声のみによる説明(試験開始終了の合図等)に支障がある場合、必要に応じて説明内容を書面で提示する。

成績開示について

本学では、入学選抜及びスカラシップ試験の結果について、受験生本人の成績開示請求に基づき、評点と合格(認定)最低点を開示します。詳細及び申請については下記URLをご参照ください。

https://www.kobe-du.ac.jp/exam/grade_disclosure_request/

記録写真の撮影／入試作品について

入学選抜の際、記録写真を撮影する場合があります。

記録写真や入試作品は、展示または入試資料への掲載をすることがあります。あらかじめご了承ください。

個人情報

エントリー／出願の際に提出された住所・氏名・その他の個人情報は、個人情報保護法に基づき、適切な管理を行い、入学者選抜、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項、各種統計処理・分析を行うために利用します。
上記業務を遂行するにあたり、機密保持契約を締結した業務委託業者に対して、業務に必要となる範囲で、提出された個人情報の全部または一部を提供することがあります。その場合、委託先に対し、安全かつ適切な管理を行うよう、本学が監督します。
また、個人が特定されないよう統計処理した個人情報のデータは、本学における入学選抜のための調査・研究の資料として利用するほか、進学希望者等への情報公開に使用します。あらかじめご了承ください。

感染症による試験当日の欠席について

本学入学選抜において、学校保健安全法（学校保健安全法施行令、学校保健安全法施行規則を含む）で出席停止が求められている感染症に罹患し、治癒していない受験生は、他の受験生に感染のおそれがあるため受験できません。その場合は納入済の入学検定料全額を返還します。詳細及び申請については下記URLをご参照ください。
https://www.kobe-du.ac.jp/exam/fee_refund/

入学手続き

合格発表後、入学手続き期間内に入学金・学費を納入し、必要書類（合格発表の際に案内）を提出してください。期間内に手続きを完了しない者は入学資格を取り消します。

入学金・学費等

(単位＝円)			
種別		前期 (入学手続き時納入額)	後期 (入学後10月納入額)
入学金(入学時のみ)		200,000	—
学費	授業料	525,000	525,000
	教育充実費	275,000	275,000
計		1,000,000	800,000

※その他の納入金
教育後援会費 …………… 40,000円(在学期間分)
学生フォーラム会費 …………… 20,000円(在学期間分)
同窓会組織KDU-Net入会費 …… 10,000円

※次年度以降の納入金は、入学金を除く学費(授業料・教育充実費)の金額です。
※各学科によって異なりますが、入学後、教材費・実習費が必要となります。詳細は「入試ガイド2025」42ページ「初年度に必要な機材・用具」をご参照ください。

入学金の返還

入学生が本学大学院・学部卒業生の子女または兄弟姉妹、在学生の兄弟姉妹の場合は、当該入学生の入学金を入学後に返還します。
兄弟姉妹が同時に入学する場合は、入学金の徴収は1名のみとし、余剰分を入学後に返還します。
※入学後に申請を要します。

入学前教育

本学では、広い教養、専門的知識、能力、技術とコミュニケーション力を備えたデザイナー、アーティスト、クリエイターの養成を修学の目的としています。そのため、入学予定者のみなさんには、入学までに、大学での学びの準備を整え、理解を深め、そして入学後スムーズに修学を進められるよう、入学前教育を受講していただきます。内容は「学科別課題」と「全学科共通課題」を柱とし、自宅学習プログラムと登校プログラムでの展開を予定しています。具体的な課題等は、各入試日程の入学手続き完了後に順次ご案内します。

2024年度入学生の一例

	自宅学習プログラム	登校プログラム
学科別課題	・ 推薦図書や映画映像の読書／鑑賞レポートの作成 ・ デッサン、スケッチ ・ フィールドリサーチ	・ 卒展見学 ※希望者のみ
全学科共通課題	・ 日本語力、英語力テスト	・ デッサン／クロッキー教室 ・ コンピュータ教室 ※希望者のみ

※合格した入試区分、学科により内容が異なります。
※プログラム内容は変更することがあります。

アドミッションポリシー [入試で求める人物像]

芸術工学部

神戸芸術工科大学では、人間にかかわる関係諸学を総合的にとらえ展開する「芸術工学」の教育・研究を通じて、広い教養、専門的知識、能力、技術とコミュニケーション力を備えたデザイナー、アーティスト、クリエイターを養成する。それにあたり、芸術工学部では、必要な素養(知識、観察力、論理的思考力、表現力、造形力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力)を持つ人やそれらを学ぶ意欲を持つ人物を求める。

- ・ 教育内容が理解できるための、基礎的な知識・技能を持っている。
- ・ 人間と社会全般に対する興味、関心を持っている。
- ・ 表現することに対する意欲を持っている。
- ・ 自ら課題を発見し、創造的に考え、解決、行動しようとする意欲を持っている。
- ・ 大学での学びをとおして、人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。
- ・ 特定の分野で卓越した能力を持っている。

建築・環境デザイン学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、都市からインテリアまでの多様な空間スケールを対象とする建築・環境デザインにおいて、都市・地域空間や生活環境などの質を持続的に向上させ、社会を持続可能な環境に変えていく力を身につけた空間デザイナーやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、多様な空間(環境)の創出・再生デザインのための基礎的知識をもとにしたリサーチからデザインを展開する力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・ 教育内容が理解できるための、基礎的な知識・技能を持ち、主体的に学ぶことができる。
- ・ 人々が暮らす環境・空間について幅広い興味、関心を持っている。
- ・ 多くの人とのコミュニケーションを通して、相手の立場に立ちながら自分の考えを構築し、表現する意欲を持っている。
- ・ 自ら学び未来を切り開く意欲をもち、社会や環境に対する観察力によって自ら課題を見だし、その解決に向けて柔軟に思考できる。
- ・ 大学での学びを通して、環境・空間のデザインを通して人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。
- ・ 建築・環境デザインに関する分野で卓越した能力を持っている。

生産・工芸デザイン学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、デザインの思考力をもって解決することで人々の暮らしを豊かにするデザイナー、アーティストやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、プロダクトデザイン、ファッション・テキスタイル、クラフトにおける専門性と幅広い知見、技術及び表現力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・ 生活用品、電気製品、家具、雑貨、ファッション、テキスタイル、ガラス、陶芸、ジュエリー、フィギュアなどライフスタイルに関わるデザインやアートに興味関心がある。
- ・ 論理的に分析する思考力と豊かな発想力がある。
- ・ 鋭い観察力と芸術的な表現力がある。
- ・ 社会で起こっている事象に目を向け、社会貢献に関心がある。
- ・ 思考の異なる人と話し合い、コミュニケーションが取れる。
- ・ 新たな目標に向かい、計画的に事柄を進めることができる。

ビジュアルデザイン学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、時勢に対応する表現方法や伝達方法、横断的な発想や企画力を駆使し、ビジュアルデザイン分野における創造的な社会活動や芸術的表現を志し、デザイナー、アーティストやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、グラフィック・コミュニケーションデザイン、WEB・デジタルデザイン、エディトリアルデザイン・イラストレーション領域におけるデジタルな手法と、古典的な手作業の修練、専門知識と実践的能力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・ グラフィック、広告、ブランディング、本、雑誌、Web、イラストレーション、絵本などに強い関心、興味を持っている。
- ・ 社会的事象や自然に対する優れた観察能力がある。
- ・ 論理的な批評・分析能力と、豊かな感性を持っている。
- ・ 周りの人との適切なコミュニケーションをとり、相手の立場になって考え、表現ができる。
- ・ 新たな時代を切り開くデザインや表現に挑戦する意欲がある。

メディア芸術学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、芸術的感性をバックボーンとし、最新技術及び構造的知識をもって、創造的な表現活動を通じて社会に貢献するデザイナー、アーティストやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、メディア芸術分野における専門性と幅広い知見、技術及び表現力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・ まんが・アニメ・映画・CG・ゲームなどのメディア芸術に対する知的関心を持ち、懸命にその表現方法を学修していこうという意欲を持っている。
- ・ メディア芸術の制作を通じて、主体的に多様な人々と協議し、学びを深めようとする。
- ・ まんが・アニメ・映画・CG・ゲームなどを楽しむのが好きで、自分の鑑賞力や表現力を高め、いずれは制作活動や研究を行いたいという意欲を持っている。
- ・ メディア芸術の制作を通じて、個人や社会に対する自分の考えを発信していきたいという意欲を持っている。

